



■これまでの進路決定状況

<就 職>

今年度は、コロナ禍以前の求人状況にはまだまだ届きませんが、昨年度に比べて多くの求人を県内外よりいただきました。9月16日以降の選考試験開始とともに、3年生236名のうち、就職希望生徒185名がそれぞれ希望する企業において選考試験を受験しました。これまでの筆記試験練習や面接練習の成果を受験当日には、しっかりと発揮できたことと思います。その結果、ほとんどの生徒がファーストチャレンジで内定を勝ち取ることができました。

しかし、残念ながら第一希望の内定を勝ち取ることができなかった生徒がいたことも事実です。もちろん彼らには、すぐに2回目受験のサポートに移り、セカンドチャレンジを目指してもらいました。結果、別の企業への内定を手にすることができております。

また、公務員志望についても、それぞれが自衛隊・県警察・各自治体消防を目指しての選考試験を受験しました。1次試験の合格者のみが2次試験に進むことができるという非常に厳しい試験であるため、なかなかみんなが次に進むことは難しいものでした。そんな中、見事合格を勝ち取った生徒は、今年度希望者の半数以下という結果でした。残念な結果に終わった生徒には、面談や相談を経て、現在のところ、企業への就職や、来年度再チャレンジのための専門学校入学へ方向転換を進めているところ です。



<進 学>

進学について、4年制大学や短期大学の受験はこの11月がピークです。国公立大学へ

の推薦入試、私立大学への指定校推薦入試、スポーツ推薦入試、私立短期大学への専門高校選抜入試、など、すでにほとんど受験が終わり、12月に合否結果が発表されるのを待つのみとなりました。これまでの努力の成果が実ることを祈るのみです。

また、専門学校については、すでにほとんどが受験済みで、その受験結果として合格内定をいただいております。まだ若干残っておりますが、引き続き頑張ってもらいたいと思います。

■いしかわ教育ウィークでの取組

11月1日～11月7日までの「いしかわ教育ウィーク」では、県内各校においてそれぞれ特色ある取組が実施されました。本校でも各学年において進路行事を実践しました。



3年生では、11月1日に、本校若手OBの方々をお招き、各教室において職業講話を実施しました。若手OBの高校時代から現在に至るまで、仕事についてのやりがいやモチベーションの高め方、残りの高校生活の過ごし方など、様々な視点からお話をいただき、質疑応答では、かなり盛り上がりました。



2年生では、昨年に引き続き、小松ロータリークラブより講師の方々をお招きし、職業講話をいただきました。昨年と異なる講師のお話をうかがい、昨年よりひとまわり成長した感想文を書いた生徒が多かったようです。



1年生では、(株)ベネッセ担当者を講師に、受験している模擬試験の実施の意味・内容について、これからの進路決定にどのように関係してくるかなど、模擬試験の重要性についてのお話をいただきました。このことを理解しながら、模擬試験にTRYしてほしいものです。